地域住民と交流する「町内清掃＆餅つき・焼き芋大会」









活動内容

10月31日（土）、健康医療スポーツ学部リハビリテーション学科作業療法コース4年生が企画した「町内清掃＆餅つき・焼き芋大会」を、市原市潤井戸団地にて開催した。本活動は、授業の一環として実施した地区踏査を通じて、地域の「強み」や「課題」を理解した学生たちが発案！「大学生と地域住民が協力して落ち葉清掃を行うこと」、「昔ながらの風習である餅つきや焼き芋づくりを若い世代へ伝承すること」、そして「世代を超えた交流の機会を創出すること」を目的として企画・開催したものである。

活動実績・成果

当日は、作業療法コース学生19名、理学療法コース学生10名、教員3名に加え、地域の子どもからご高齢の方まで住民30名以上が参加し、総勢60名を超えるイベントとなった。町内清掃では、落ち葉が多く集まる場所や公園を中心に活動を行い、住民の皆様から大変喜ばれた。また、餅つきや焼き芋づくりでは、地域住民の皆様が昔ながらの手法を学生たちへ伝え、多世代の交流が生まれた。作業療法コースの齊藤一実講師は、「学生は、地域への貢献に加え、地域に根差した暮らしの文化や知恵を受け継ぐ貴重な学びの場となりました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。リハビリテーション学科では、今後も地域との連携を大切にしながら、学生の学びと地域貢献の両立を目指した活動に取り組んでまいります。」と述べている。

事業連携先

潤井戸団地自治会

関連リンク：